

コーヒー、カカオの森林農法が実際に行われている グアテマラの森林農法の森を訪ねて

ウインドファームのスタッフとして働いていた山口千恵さん。今回、フェアトレードのコーヒーやカカオが栽培されている森林農法の森が、実際どのような場所なのか見てみたいと思いメキシコとグアテマラを訪れた。実際にグアテマラに行ってみれば、森林農法の他にも見えてくるものがたくさんあった。その旅をまとめた体験レポートをお届けします。



メキシコから陸路でグアテマラへ

最初にメキシコを訪れ、そこから陸路で国境を超えグアテマラのフェセグ協同組合（以下フェセグ）へ向かいました。フェセグは2006年に設立された非営利組織です。小規模なコーヒー生産者が国際市場でのコーヒー価格の変動やリスクなどの課題を乗り越えるための支援を目的に設立されました。フェセグのオフィスがあるのはケツアルテナンゴという国内第2の都市にあります。ここに各地の生産者の育てたコーヒー豆が届き、日本を含む各地に出荷されています。

グアテマラの高原地で営まれる森林農法と、楽しい農園見学

生産者はすべて小規模農家で、グアテマラの高原地で、コーヒー、蜂蜜、サトウキビ、カカオの有機栽培をしています。雄大な山々には火山も点在し、また高品質のコーヒーに独特の特徴を与える多様な微気候で知られている土地です。

私が訪れた生産地は、ヌエバエスコシア村とエマヌエル村です。あらかじめ聞いていた通り、フェセグを構成している生産者組合は、グアテマラ国内の各地に点在するため、それぞれの生産地には車で何時間も山や谷を移動した末に、ようやくたどり着くことができました。



生産者の方とコーヒーの木



エマヌエル村の生産者組合のみなさん

コーヒー農園は傾斜が厳しい場所でした

が、見学する時には男の人も女の人もみんな一緒に案内をしてくれました。農園といっても森林の中で栽培されているので見た目は森です。その中にコーヒー、カカオ、マンゴーなどの果樹などが実ります。ある時、生産者のおじさんが見て欲しいものがある、と言って一生懸命に土を掘り始めました。みんなで見ているとやがてそこからユカ芋がでてきました。おじさんはとても無邪気な笑顔で、自慢げに人の顔よりも大きなユカ芋を見せてくれ、そしてお土産にと、私にくれました。



おじさんが掘り出してくれた大きなユカ芋（タピオカの原料）

村の中を歩いていると、庭でコーヒー豆を乾燥させる作業をしている人を見かけたり、教会でお祭りをしているのが聴こえてきたり、日本とは違う時間の流れ方を感じることがあります。農園の見学などが済むと「お腹が空いていないか」と言ってチキンやトルティーヤをご馳走してくれます。チキンはその家で飼育している鶏なのかと思われて、おそらく貴重な食料を振る舞ってくれる心遣い

が申し訳なく、とてもうれしかったです。



手前がソースにカカオを使ったチキン料理（ポジョエンモレー）

実際に現地を訪れてみないと分からない様々な現実

グアテマラの滞在中には、他にも様々なものを見て体験しました。メキシコとグアテマラの国境沿いには川が流れていますが、その川を数人の人が渡っているのを見かけました。出入国の手続きはその川にかかる橋上のイミグレーションで行いますが、正式な手続きをせずにグアテマラからメキシコへ不法入国をしている場面です。

私は日本を出発する前に、中南米の人々が命をかけてアメリカをめざす不法移民たちの映画を観ました。ニュースなどでも実際に中南米の人々が高賃金の労働を求めて危険を顧みずアメリカへ不法入国を試みるとい

う話は聞いてきました。ですが、自分が実際にその場面を目の当たりにするとは思いませんでした。その中でも驚き、またショックな気持ちがありました。

生産地よりも都市化され欧米人も多く住む町に滞在中に、水道から時々茶色がかつた水がでることもありました（町によっては浄水器を通して水道水を飲用水として使いますが、この町では飲用水は購入する必要があります）。外国からの移住者や生活に余裕がある世帯ではポンプを設置し井戸水を使います。住民から税金や水道代を徴収しているにもかかわらず適切に運用されず、きちんとした浄水場が作られないのだと聞きました。

また、地域によっては有力者の子が報酬の良さからコネを使って優先的に教師になつてしまつたために、本当に教師になりたい人が教師になれないだけでなく、適切な人材が教師にならないために子ども達に適切な教育が行われないということがあるようです。

グアテマラでの旅を終えて、今、思うこと

今回のグアテマラ、フェセグの生産地へは代表のファンさんと共に訪れました。パートナー組織である各生産地の中で、代表だからといって偉そうにしたりもせず誰に対しても家族のように楽しそうに話しているのが記憶に残っています。生産者の中には以前は

アメリカへの移住を考えていたけれど、フェセグのおかげで収入を得られ安定した生活ができるようになったという方もいました。

フェアトレードという言葉が使われなくなる位に、貿易に不平等がなくなことを願い、フェアトレードの衣類、食品や日用品など生産者から搾取が行われていない商品を選べるだけ選んでいきたいと思っています。

（取材・山口千恵）



子どもたちもコーヒー農園の案内してくれた

有機栽培・森林農法
キシエコーヒー（グアテマラ産）



※ カタログ24ページに掲載